社協あさみなみ

第100号
平成30年
3月31日 発行

編集・発行
社会福祉法人
広島市安佐南区社会福祉協議会
(安佐南区総合福祉センター内)
〒731-0194　広島市安佐南区中須1-38-13

■ 本 部 事 務 所　☎(082)831-5011　FAX(082)831-5013　Eメール:asami@shakyohiroshima-city.or.jp
■ 佐東老人いこいの家　☎(082)879-7880(FAX兼)

昭和55（1980年）年８月７日、町社協の法人合併、区社協昇格により出発した広島市安佐南区社会福祉協議会は一貫して福祉のまちづくりを進めてまいりました。区社協の広報誌「社協あさみなみ」も紙齢をかさね、今号で100号となりました。

設立から37年。この間、多くの出来事がありましたが、平成26年８月20日に安佐南区を襲った豪雨災害は忘れることはできません。被災者の支援活動を通して、日ごろから顔が見え、話ができる関係づくりの大切さをあらためて、胸に刻みました。

平成の元号が変わり、新たな時代を迎えます。これからも、「安心・安全のまち」安佐南区を目指していきます。今後ともご支援よろしくお願いいたします。

安佐南区社会福祉協議会　会長　寺尾　一秀

大町学区社協の取り組み紹介「子育てはまちづくり」

大町学区社協の取り組みを土手会長にお聞きしました。

Q. 大町学区社協　土手会長の地域デビューのきっかけは？

にこやかに話された土手会長

A. 約50年前になりますが、30歳前後に広島市と合併する前に大町内の団地に引越してきました。団地の世帯数も当時は約30世帯だったが、今では160世帯にまで増えました。その頃に、団地内に住まわれていた先輩方から声をかけられたのが、地域デビューのきっかけといえます。町内会長や子ども会のお世話をさせていただきましたが、特に子ども会で可部線を利用して飯盒炊飯をしたときに可部線が動かないことがあり、急遽、車を出したことも。今だったら乗り合わせることを見合わせることもあるかもしれません。

Q. 大町学区では、子どもと地域の関わりを積極的にされていますね？

A. 社協のモデル事業に取り組んだことがきっかけ。

子どもが遊べる場、自然の中で学ぶ場、また家族の構成も核家族が増えてきたころで、子どもたちがのびのびと地域で過ごせることを目的として取り組んでいます。大町小学校にも熱心な先生がおられ思いも一致して平成17年より小学校や保育園、幼稚園と一緒に、子どもたちと地域の交流プログラムが始まりました。

平成29年度は、1年生はお手玉や竹馬など11種類の「昔の遊び」、2年生は「昔の大町」、3年生は「かがら山の登山」、4年生は「小刀を使った竹でっぽうづくり」や「かまどを使ってごはんを炊く」、5年生は「おやつ作り」、6年生は「武田山登山」や「感謝の会」を開催。幼稚園や保育園では、「餅つき」や「七夕まつり」「クリスマス会」等を行いました。実施日が計26回で、地域からの参加は延べ247名。3年生や4年生は、ケガを懸念して、使うことがあまりない小刀をあぶなっかしいが、目を輝かせながら使っています。竹でっぽうが完成すると大変喜んでいました。学校や家庭だけではできないことを、我々が教わってきたことが伝えていければと思う。これからも続けていきたい。

長束地区社協の取り組み紹介「郷土文化の継承はまちづくり」

平成30年3月7日に長束地区社会福祉協議会の福永積会長と冨永弘幸事務局長に、長束地区で取り組まれている「長束祭り創生事業」についてお話をお聞きしました。

Q. 平成２９年度の新たな取り組みについて教えてください？

A. その一つは、平成29年８月11日に開催した「長束盆踊り」です。これは40年前から行われていた西川町内会の「盆踊り」や、各町内会・自治会で行っていた「夏まつり」などを、関係する皆さんのご理解とご協力によって長束地区全町の行事として統一・再編し、「長束盆踊り」として新たな一歩を踏み出せたことです。

長束地区も開発が進み、人の移動や社会情勢の変化に伴ってコミュニケーションがとれる機会が減少し、地域はもとより近隣同士のつきあいも希薄になりつつありますが、このような中で、誰もが参加し、ふれあうことができる「長束盆踊り」の再生は、地域のコミュニケーションづくりの機会になると考えました。

8月11日の盆踊りの様子

「長束盆踊り」の当日は、長束小学校グランドに子どもから高齢者まで延べ1000名もの方々が参加され、盆踊りや夜店めぐりなどで楽しいひとときを過ごされましたが、初対面の人同士でも会話が生まれる光景もあり、新しい人間関係は、これからの地域活動にも活かせるものと思っています。なお、盆踊りで使用した音楽は、長束西学区社会福祉協議会と共同で、旧来の「長束盆踊りうた」を関係者のご協力を得て、CD化したものです。また、これらに要した経費は区役所の「区と魅力と活力向上推進事業補助金」を活用しました。平成30年1月13日に行った「とんど」も「長束祭り創生事業」その一つです。

Q. 歴史や文化を知ることも大切ですね？

A. 長束地区社協では４年前に協議員やOBによって「歴史編纂委員会」を立ち上げ、長束地区社協の「あゆみ」編纂作業を行っています。同社協は昭和27年や28年頃に設立されたようですが、正確には分かりません。以前に取り組んだ「福祉のまちづくりプラン策定」がきっかけで、どのようなまちになるといいか、どのようなまちにしようと考えているのか、などのことを模索している段階で、過去の出来事を把握することが必要になり、この「あゆみ」事業に取り組むことの必要性が見いだされ、「盆踊り」や「とんど」行事に取り組むことになりましたが、当面の課題として郷土愛や人と人との繋がりの再構築を目標に三世代交流を通じて「盆踊り」や「とんど」の場を活用するとともに、これらが郷土の風物詩として定着することを願っています。まちづくりは「温故知新」である、と福永会長は締めくくられました。

社協あさみなみ第100号を記念して プレゼントのお知らせ

安佐南区内に障害者福祉サービス事業所があります。その中の
NPO法人ひゅーるぽん　コミュニティほっとスペースぽんぽんの
「ぽんぽんオルジナルクリアファイル(2枚)」を2名様
社会福祉法人あさみなみ　工房ともの「ともともギフト(焼き菓子)」を2名様
NPO法人はなみずきの「さをり織り小物」を2名様
抽選で合計6名様にプレゼントします。

「ぽんぽん」は人や社会とつながりながら、より豊かに、幸せに、生き生きと自分らしく生きていくことを大切にしています。
その一つの手段としてアート活動に取り組み、自己表現として大切にしながら、様々な形で社会に発信しています。

「工房とも」では『自分のペースでがんばる!』を合言葉にして、毎日仕事に励んでいます。クッキーやケーキなどのお菓子を、こころを込めて作っています。
「工房とも」でも販売していますので、ぜひ遊びに来てください。

「NPO法人 はなみずき」では、知的障がいの仲間達が、豊かで当たり前の地域生活を送れるよう、余暇支援や仲間づくりのサポートをしています。又、みんなが暮らしやすい地域になるよう、だれでも参加できるカフェやさをり織り、音楽会などのイベントも開催しています。

応募方法
ハガキ、ファックスまたはEメールに、住所・氏名・年齢・性別・電話番号。本紙で興味があった記事の感想を記入の上、4月14日(土)(消印有効)までに安佐南区社会福祉協議会へ。
※安佐南区在住の方が対象。応募は1人1通とします。　※応募多数の場合は、厳選なる抽選を行います。あらかじめご了承ください。　※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

あて先
社会福祉法人　広島市安佐南区社会福祉協議会　「社協あさみなみ」プレゼント係
住所・FAX番号・E-mailは下記お問い合わせ先参照
(個人情報は、賞品の発送と読者層の調査に利用します。)

ボランティア入門講座のご案内

●要約筆記ボランティア入門講座
聴覚に障がいのある方のコミュニケーションのひとつに要約筆記があることをご存じですか?話を要約し文字で書いて相手に伝える方法で、大切な情報伝達手段のひとつです。書いて伝えるコミュニケーションのお手伝いをしてみませんか。

日　時　平成30年5月28日から6月11日までの毎週月曜日 10:00～12:00(全3回)
参加費　300円(資料代として)
定　員　先着20名
場　所　安佐南区総合福祉センター

安佐南区ボランティア連絡会の加入グループを紹介します。

安佐南在宅看護職の会

こんにちは、区社協のボランティア担当です。
今回は安佐南在宅看護職の会のボランティア活動『まちの保健室』へ取材活動の様子を取材してきました。

(区　社　協):安佐南在宅看護職の会はどのようなボランティアグループですか。
(看護職の会):私たちは結成して28年になるボランティアグループで、保健師・助産師・看護師・傾聴ボランティアが会員にいます。主な活動は『祇園福祉センター』と『佐東老人いこいの家』で月2回ずつ『まちの保健室(健康相談)』を行っています。

(区　社　協):『まちの保健室』で健康以外の相談をすることが出来ますか。
(看護職の会):はい、生活習慣病予防を目指した健康相談の他に普段の生活のストレスや悩みなどを話に来る方もいらっしゃいます。どんなことでも気軽に話しに来られる場所になればと思い私たちグループは活動しています。

(区　社　協):私がお邪魔した当日も血圧測定などの健康チェックの他に利用者の方と色々な話題で盛り上がっていました。以上、取材の様子でした。

まごころに感謝します

お寄せいただいた善意は地域福祉のため、有効に活用させていただきます。
(平成二十九年九月一日～平成三十年二月二十八日まで　―受付順―)

○一般寄附
広島美しい町協同事業協会　様
梅田　ミエ子　様
妹尾皮膚科医院　様
匿名　一名

災害義援金における協力のお礼と義援金受入状況のご報告

平成29年度も多く発生しました災害につきまして、安佐南区内のみなさまより心温まる義援金にご協力いただきましたことに、心から感謝申し上げます。
各災害募集期間内の義援金受入状況をご報告させていただきます。

(平成30年2月末現在)

	名　称	募集期間	募集状況	義援金額(安佐南区分)
1	熊本地震義援金災害義援金	H28.4.18 ～ H31.3.31	受付中	5,138,631
2	福岡県大雨災害義援金	H29.7.10 ～ H30.3.30	受付中	1,189,842
3	大分県豪雨災害義援金	H29.7.11 ～H29.12.28	終了	433,424
4	秋田県大雨災害義援金	H29.7.27 ～ H29.8.31	終了	0
5	台風18号大分県災害義援金	H29.9.21 ～ H30.3.30	受付中	28,000
6	台風21号三重県災害義援金	H29.10.31～H29.11.30	終了	0
7	和歌山県平成29年台風21号災害義援金	H29.11.2 ～ H30.1.31	終了	40,000
8	糸魚川市大規模火災義援金	H28.12.26～H29.6.30	終了	154,531

第8回安佐南区ボランティアまつり報告

平成29年9月24日(日)に安佐南区総合福祉センターで開催し、約550名の来場がありました。来場者アンケートでは、学生さんの活躍・折鶴モニュメントや飾り付けが素晴らしい、楽しめた、勉強になったなどの声をいただいています。
また、東北支援活動として行っている“たる募金”ですが、今年度は24,409円の募金がありました。募金は全額、福島県飯舘村の子どもに対する支援を目的とした『いいたてっ子未来基金』に寄付させていただきました。
ご来場いただきました皆さま、ご協力いただきました関係者の皆さま、ありがとうございました。

第9回は、平成30年9月23日(日)を予定しています。ぜひ、ご来場ください。

寄付は地域を支える第一歩　寄付についてのご案内

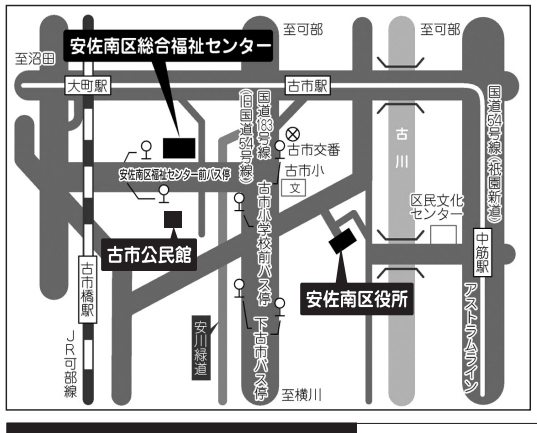
皆様からの温かいご支援が、福祉の向上への大きな力になります。
寄付はそのひとつの方法です。

☆このようなときに、寄付というのはどうでしょうか?
●長寿や結婚、金婚式などのお祝いの記念として　●フリーマーケット・チャリティーバザーなどの収益金を　●グループの忘年会、会合などの会費の一部を
●香典返しに代えて　●お店などの募金箱から

いただいたご寄付は、下記の事業に使わせていただきます。

☆主な寄付金の使途
●地域福祉事業　●障害児者福祉事業
●ひとり親福祉事業　●ボランティア事業

☆寄付金のお申し込み・お問い合わせ先
広島市安佐南区社会福祉協議会事務局
〒731-0194 広島市安佐南区中須1-38-13
TEL(082)831-5011　FAX(082)831-5013



お気軽にご相談ください　無料です

安佐南区社会福祉協議会では、生活上のあらゆる困りごと、悩みごとについての相談をお受けしています。お気軽にお電話ください。**下記参照** までお問い合わせください

弁護士相談
毎月第３水曜日
13：00～15：00（要予約）
金銭トラブル、不動産、家庭問題、遺産相続など分かりにくい法律の疑問に弁護士がお答えします。

まちの保健室
在宅看護職の会が健康相談を行います。
佐東老人いこいの家
第１・３月曜日
10：30～12：00
祇園福祉センター
第２・４水曜日
13：00～15：00

子育て・サークル相談
第1・2・3火曜日
10:00～12:00
先輩ママ“MaMaぽっけ”による子育ておしゃべりの場です。はじめての子育て、仲間づくりを応援しています。また、子育てサークルのことや子どものこと、ママ、パパたちの悩みなどの相談にのっています。ママ、パパの気分転換にどうぞ！

掲載記事へのご意見・ご感想・お問い合わせ先
社会福祉法人 広島市安佐南区社会福祉協議会事務局
〒731-0194 広島市安佐南区中須1-38-13　TEL 082-831-5011　FAX 082-831-5013　E-mail：asami@shakyohiroshima-city.or.jp

この広報誌は共同募金を一部充当しています。